

「u - Japan政策パッケージ」の全体像

2010年へ向けた将来課題（生活者のニーズ調査から抽出）

人に優しい心と心の触れ合い

- 高齢者に優しい住宅
- 若年・中高年の社会参加
- 交通渋滞・事故の削減
- 乗客のイライラ解消

利用者の視点が融け込む

- 災害時の安全確保
- 食の安心・安全
- 患者中心の医療サービス
- リサイクル・ゴミ処理の推進
- ショッピングの効率化
- 行政手続きのオンライン化

個性ある活力が湧き上がる

- コンテンツへの自由なアクセス
- 勤務形態の多様化
- ホワイトカーの協業支援
- 生涯学習の普及

ICTの利活用が将来課題の解決に寄与

技術の成熟と普及定着

産官学民一体となって集中的・重点的な取組みを推進

利用者意識の向上

2010年には世界最先端の「ICT国家」として先導

u Japan政策パッケージ

ユビキタスネットワーク整備

- 有線・無線のシームレスなアクセス環境の整備（電波開放、固定・移動融合、通信・放送連携等）
- ブロードバンド基盤の全国的整備（ディバイド解消、地域情報化、デジタル放送、競争政策等）
- 実物系ネットワークとの融合促進（電子タグ、センサーネット、ネットロボット、ユビキタス端末、ITS等）
- ネットワーク・コラボレーションの基盤整備（プラットフォーム、相互運用性、高信頼性、コード標準化等）

ICT利活用の高度化

- ICTによる先行的社会システム改革（社会・経営革新、物流・レガシー改革、制度改革等）
- コンテンツの創造・流通・利用促進（流通環境整備、アーカイブ、電子政府・自治体等）
- ユニバーサルデザインの導入促進（E-ジェント技術、ユーザインタフェース、アクセシビリティ等）
- ICT人材活用（人材育成、教育改革、ベンチャー促進、市民参加等）

利用環境整備

- ICT安心・安全2010戦略（100課題の中から優先的に対応すべき20課題・10分野を抽出し、重点戦略を推進）
- ユビキタスネットワーク憲章の制定（ユビキタスネットワーク社会の基本原則及び共通認識を整理し、憲章化して世界に発信）

国際戦略：国内にとどまらず、国際的な市場やネットワークを視野に入れた政策を推進（アジアを世界の情報拠点に）

技術戦略：必要となるICT分野の研究開発・標準化を戦略的・重点的に推進